

北海道支部通信

Vol.18

題字 弦巻 靖 氏

2010年度 支部通常総会終了

2010年度、支部通常総会が5月21日に札幌後楽園ホテルにおいて開催されました。総会では下記議案が承認され終了しました。

議案

- 第1号議案 2009年度 事業報告書の承認
- 第2号議案 2009年度 支部決算書の承認・会計監査報告
- 第3号議案 2010年度 事業計画書(案)の承認
- 第4号議案 2010年度 支部予算書(案)の承認



総会終了後、本年度最初の事業と致しまして(社)日本建築構造技術者協会北海道支部 主催による講演会を開催いたしました。

今回は「建築構造・設計を自ら考えよう。」と題し、(株)NewsT研究所 代表取締役 石山 祐二 氏による講演を行いました。



概要

「構造設計は単に基準類に従うのではなく、自ら判断しながら行うことが重要である。例えば、基準類は必ずしも正しいとは限らず、不適切な構造に導くこともある。設計者は、そのようなことが生じないように自ら考え、判断できるように研鑽して欲しい。また、今後は海外での仕事、海外の基準による設計、海外の技術者との共同にも必要に迫られることもあろう。このため、特に若い世代の方は、英語で仕事ができるように日頃から努力して欲しい。」

石山先生の講演会を終えて

技術委員長 島田 知典

2010年度 JSCA北海道支部総会の後、北海道大学 名誉教授 石山裕二先生をお招きして「建築構造・設計を自ら考えよう。」と題して、公演していただきました。「構造設計は単に基準類に従うのではなく、自ら判断しながら行うことが重要である。しかし、基準類には従う必要がある。」という言葉は、我々が心の中で意識しなければならないと感じました。しかし、毎日の仕事に忙殺されがちな言葉でもあります。

基準法・告示に出てくる式は、本来こうあるべきというお話は、やはり、自ら新耐震を作られたお立場だからこそ出来るお話です。生で聞くと説得力がありました。貴重なお話に感銘を受けた次第です。



各委員長 2010年度の抱負と予定

技術委員会委員長 島田知典

技術委員長をお引き受けしてから、はや1年が達ちました。実際やってみますと、迷うことも多く、皆様のご指導がなければ、1年を過ごすとは出来ませんでした。最近、少し慣れてきた感があります。しかし、この文章も、やはり高松広報企画委員長に催促されながら書いております。この辺は、1年前とまったく変わっておりません。あと1年任期がありますが、皆様のご指導の下、JSCA北海道支部のために一生懸命、活動する所存です。もう1期ぐらいお引き受けしてもいいかなと、調子のいい事を思っておりますが、皆様から非難を浴びそうです。

広報企画委員会委員長 高松 圭

広報企画委員会では、昨年と同じメンバーで活動を行います。今年度の予定は、支部通信の発行2回、ホームページのリニューアルを考えております。ホームページに関しては、既に活動しておりまして、年内の完成を目標にしております。楽しみにして下さい！

道東サテライト委員長 岡田 隆

道東サテライト委員会は、昨年度は勉強会等を開催することができませんでした。道東サテライトは十勝と釧路に分かれているため、日程調整が難しいところもあります。今年は、早めに予定を立て、意見交換会を中心とした勉強会を開催したいと考えております。又、スキルアップセミナーの道東開催は、参加人数等もありますが、テーマを絞って開催が可能か、調整していきたいと思っております。

道北サテライト委員長 國松 誠

昨年度は事業を開催できなくサテライト会員には大変申し訳なく思っています。今年度は北方建築総合研究所 植松氏に御願いいし実験の見学・勉強会を開催出来るようただいま手配を行っている最中です。内容、スケジュールは未定ですが、会員の皆様に興味をもって頂ける内容にしたいと考えています。道北サテライト以外の会員の参加も期待したいと考えていますので、宜しく御願いいいたします。

JSCA北海道支部_2010年度支部総会終了後、懇談会が、「平成21年度 北海道産業貢献賞」の報告会を兼ねて行なわれました。



平成21年度 北海道産業貢献賞についての説明が顧問の羽沢さんからありました。

道北サテライトからの報告



道東サテライトからの報告

石山先生から



建築士定期講習のご案内

・札幌市	10月21日(木)	第2水産ビル	定員300名
・北斗市	10月25日(月)	総合文化センター	定員100名
・釧路市	11月2日(火)	シーサイドホテル	定員100名
・北見市	11月9日(火)	相内地区住民センター	定員100名
・旭川市	11月17日(水)	道北経済センター	定員140名
・苫小牧市	11月24日(水)	市民会館	定員70名
・中標津町	2月9日(水)	トーヨーグランドホテル	定員100名
・稚内市	2月24日(木)	総合文化センター	定員70名
・札幌市	2月28日(月)	コンベンションセンター	定員500名

問合せは社団法人北海道建築士会
011-251-6076

管理建築士講習会のご案内

・札幌市	8月24日(火)	札幌コンベンションセンター
・函館市	9月14日(火)	北斗市総合文化センター
・釧路市	9月28日(火)	苫小牧市民会館
・苫小牧市	9月17日(金)	釧路市観光国際交流センター

問合せは社団法人北海道建築士事務所協会
011-231-3165

平成22年度応急危険度判定士認定講習会のご案内

札幌市	10月12日	第2水産ビル	定員400名
札幌市	2月頃	未定	定員200名
函館市	10月14日	渡島総合振興局会議室	定員100名
江差町	11月11日	檜山振興局会議室	定員30名
小樽市又は は倶知安	2月頃	未定	未定
岩見沢市	10月28日	空知総合振興局会議室	定員150名
旭川市	10月12日	上川総合振興局会議室	定員150名
旭川市	2月17日	上川総合振興局会議室	定員150名
留萌市	1月～3月	未定	定員70名
稚内市	1月頃	宗谷総合振興局会議室	定員50名
北見市	1月頃	未定	未定
室蘭市	10月20日	室蘭広域センタービル	定員100名
苫小牧市	2月頃	未定	定員100名
新ひだか町	10月27日	新ひだか町公民館	定員80名
帯広市	10月29日	十勝総合振興局	定員150名
釧路市	1月27日	生涯学習センター	定員100名
根室市	1月26日	根室振興局会議室	定員40名

申し込み先
札幌市中央区大通西5丁目11番地 大五ビル6F
社団法人北海道建築士会
詳細は<http://www.h-ab.net/>
又は<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/ksd/oqhp> です。

2010年度 震災建築物応急危険度判定訓練及び応急危険度判定コーディネーター研修会のご案内

・応急危険度判定コーディネーター研修会
平成22年 8月27日(金)
9:15～12:15(受付8:45)
定員:30名
開催地:紋別市文化会館 1階多目的ホール
(紋別市幸町3丁目1番8号)

参加費用:無料

・震災建築物応急危険度判定訓練
平成22年 8月27日(金)
13:30～17:00(受付12:30)
定員:60名
集合・講習会場:紋別市文化会館多目的ホール
(紋別市幸町3丁目1番8号)
判定模擬訓練会場:・紋別市役所(RC造)
・紋別児童会館(木造)

「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」改定講習会のご案内

・札幌市 11月27日(木) ホテルノースシティ 定員100名
日本建築学会北海道支部RC配筋係
〒060-0004札幌市中央区北4条 北海道建設会館6階
TEL 011-219-0702

参加費 日本建築学会会員 10,000円
後援団体会員 12,000円
会員外 15,000円
詳細は日本建築学会ホームページを参照してください。
<http://www.aij.or.jp/jpn/cpd/>

技術委員会より

「耐震診断に関する意見交換会」のご案内

発注・設計・判定・評定での疑問・問題点など
各テーマ毎に実務的な意見交換を2回に分けて
開催します

日時:第1回 8月20日(金)15:30～17:30
第2回 9月16日(木)15:30～17:30
会場 さっぽろテレビ塔 2階
会費:JSCA会員・支部賛助会員 無料
一般 500円

2010年度定期講習会案内

主題 新しい建築構造を目指して

1. 確認手続きと今後の法改正についてJSCAのかかわり 木原碩美(JSCA会長)
2. Eディフェンスの挑戦「被害を想像した予防」 中島正愛(京都大学)
3. 震度7クラス無損傷構造の開発「府省連携研究開発プロジェクト」成果報告 志村保美(新日本製鉄)
4. 応答スペクトルに基づいた設計法 平石久廣(明治大学)
5. 東京スカイツリーの構造設計概要 小西厚夫(日建設計)

8月28日(土) 北海道建設会館 9階大会議室 定員65名
13:00～17:00 北海道札幌市中央区北4条西3丁目1番地

編集後記

1年ぶりの発行となりました。遅れたことをお詫び致します。
広報企画委員会では、支部通信とHPの充実を計っております。ご
意見・ご希望がございましたら、お知らせ願います。

発行

(社)日本建築構造技術者協会北海道支部
事務局 札幌市中央区北2条西2丁目
第二カミヤビル
TEL 011-221-3303
FAX 011-232-0003
<http://www.jsca-h.net/>